

Louis

LMF-01

エレクトリック・ギター用
マルチエフェクター

取扱説明書

 島村楽器

次に示す注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、火災、感電、人身傷害など事故を未然に防止するためのものですので、必ずお守りください。また、本書はご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。



警告

この注意事項を無視した取り扱いを行うと、使用者が死亡するまたは重症を負うなどの重大な事故を引き起こす可能性が予想されます。

- この機器を分解したり、改造したりしないでください。
- 修理 / 部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。
- 修理は販売店に依頼してください
- この機器は音量設定により難聴になる可能性があります。音量の調整に注意し、大音量で長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

使用環境に関して

- 次のような場所での使用や保管はしないでください。
 - ・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
 - ・ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
 - ・ 雨に濡れる場所
 - ・ ホコリの多い場所
- 本機の側に液体の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。
- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。
- この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。
- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

電気、電源に関して

- 充電器は、必ず携帯電話用の5Vが出力されるものをご使用ください。
- 濡れた手でUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを抜き差しするときは、必ずコネクターを持ってください。
- 長時間使用しないときは、十分に充電してから保管してください。
- 次のような場合は、直ちに電源をオフにし、販売店に修理を依頼してください。
 - ・ 本体や入力プラグが破損したとき
 - ・ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
 - ・ 機器が（雨などで）濡れたとき
 - ・ 機器に異常や故障が生じたとき



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険、物的損害の発生が想定されます。

- ギター / ベース、シールド・ケーブル、エフェクターなどのケーブルの接続、取り外しは、使用しているアンプのボリュームを"0"にするか、電源（POWER）スイッチを切ってから行ってください。ヘッドフォンを使用している場合は、ヘッドフォンを外してから行って下さい。プラグを抜き差しする際のノイズは誤作動やギターアンプの破損およびヘッドフォンの破損など、本製品やその他の機器に深刻なダメージを与える場合がありますので必ずご注意ください。
- 小さなお子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず保護者の方が監視 / 指導してあげてください。
- 接続したコードやケーブル類は、複雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、小さなお子様の手が届かないように配慮してください。

使用上のご注意

- 故障の原因になりますのでスイッチやツマミに必要な以上の力を加えないでください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- また、至近距離から照らす照明器具や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機にゴム製品やビニール製品などを巻き付けたりして長時間使用または放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。

お手入れについて

- 本製品の表面をお手入れする前に、電源をオフにしてください。
- お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、強く絞った布で汚れを拭き取ってください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。

はじめに

この度は Louis LMF-01 エレクトリックギター用マルチエフェクターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。LMF-01 はエレクトリックギター用のドラムマシン機能付き充電式マルチエフェクターです。

充電式の内蔵バッテリーにより最大 3 時間の連続使用が可能。他、5 種類のアンプモデルと 5 種類のモジュレーション系エフェクトに加え、ハーモナイザー機能、ノイズゲート、イコライザー、ディレイ、リバーブといった本格的なエフェクトを装備し、16 種類のプリセットを切り換えて使用できるマルチエフェクターです。チューナー機能も搭載しており、ライブでの使用はもちろんのこと、ドラムマシン機能やヘッドフォン端子も搭載しているため、自宅や旅先での練習にも最適です。液晶パネルには自由に書き換え可能なプリセット名を表示できるので、曲のタイトルやエフェクトの種類も一目瞭然です。

本体重量わずか 232 g の LMF-01 なら、ギターバッグのポケットにも収納でき、高音質なギターサウンドを気軽に持ち運びすることが可能です。

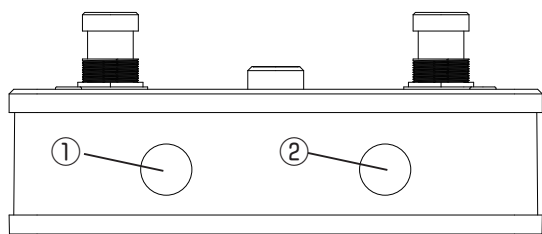
仕様

| | |
|---------|---------------------------------------|
| 商品名 | : エレクトリックギター用マルチエフェクター LMF-01 |
| 内蔵バッテリー | : 3.7V リチウムバッテリー (最大 3 時間使用可能) |
| 出力端子 | : 6.35mm モノラルプラグ、3.5mm ステレオヘッドフォン端子 |
| 入力端子 | : 6.35mm モノラルプラグ |
| サイズ | : W114 × D50 × H50mm (Hはフットスイッチ部分を含む) |
| 重量 | : 約 232g (本体) |
| 付属品 | : 保証書、USB ケーブル |

※製品の仕様は品質向上のため予告無く変更する場合があります。

※取扱説明書は、PDF ファイルのみのご提供となります。紙のマニュアルは提供しておりませんのでご了承ください。

各部の名称と機能

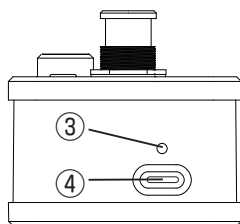


① INPUT ジャック

LMF-01 の入力端子です。ギターのアウトプットをフォーンケーブルでこのジャックに接続して下さい。このジャックはバッテリー駆動時の電源オンオフを兼ねています。このジャックにケーブルのプラグが接続されていないと、LMF-01 の電源が入りません。また、このジャックにケーブルのプラグが接続されていると、バッテリーを消費しますので、使用後は LMF-01 からケーブルのプラグを外して下さい。

② OUTPUT ジャック

LMF-01 の出力端子です。フォーンケーブルを使用してこの端子とギターアンプやミキサーの入力端子を接続して下さい。

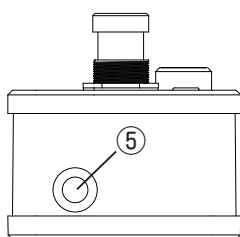


③ バッテリー LED

LMF-01 のバッテリー充電状態を確認する LED です。USB ケーブルを使用して充電器と接続し、充電を行った際、充電中は赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。充電器と接続しても赤く点灯しない場合は、充電器が LMF-01 に対応していない可能性がありますので、別の充電器をお試し下さい。

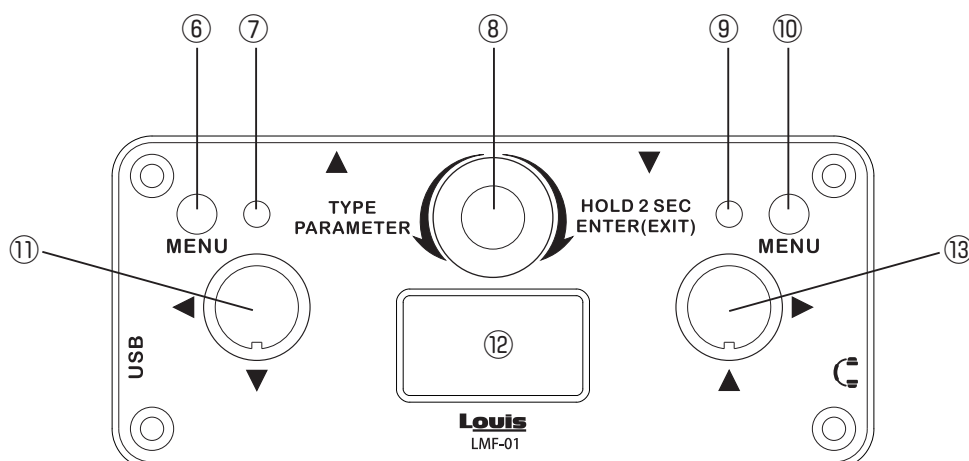
④ USB-C 端子

LMF-01 と充電器を接続するための USB-C 端子です。付属の USB-C ケーブルを接続して携帯電話用の充電器 (別売) に接続して本体を充電して下さい。充電器と接続中は常に LMF-01 の電源がオンの状態になります。



⑤ ヘッドフォン端子

3.5mm のミニステレオフォーンタイプのヘッドフォンを接続する端子です。LMF-01 の出力の音をヘッドフォンで聴くことができます。



⑥ 左 MENU ボタン

このボタンを2秒長押しすると、プリセットの保存モードに入ることができます。保存モード時にこのボタンを押すと、プリセット名の編集対象カーソルを移動させることができます。また、ドラムマシーン機能呼び出し時にはタップテンポボタンとして動作します。保存についての詳細は「プリセットの保存」の項目を、タップテンポについては「ドラムマシーン機能」の項目を参照してください。

⑦ 左 LED

電源投入時に一度緑色に点灯するほか、タップテンポ設定時に⑥のボタンを一度押しと白く点灯し、もう一度押しと消灯するのを繰り返すことで、タップの間隔を表現します。

⑧ ダイヤルボタン

パラメーター変更時の値変更と決定、カーソル移動などを行うダイヤルボタンです。左右の回転に加えて上から押すボタンになっています。このボタンを2秒長押しすると、プリセットの編集モードに入ります。編集モードの操作方法については、「編集モードについて」を参照してください。

⑨ 右 LED

電源投入時に一度緑色に点灯するほか、保存モード時は青色の点滅、バイパスモード時は赤く点灯します。

⑩ 右 MENU ボタン

このボタンを押すと、「ドラムマシーン機能」を呼び出すことができます。ディスプレイがドラムマシーンの表示になっている状態からもう一度このボタンを押すと、プリセット選択の画面に戻ります。また、このボタンを2秒長押しするとバイパスモードに入り、再度2秒長押しするか、⑪および⑬の左右フットスイッチを押すとバイパスモードから抜けれます。

⑪ 左フットスイッチ

プリセットを逆順に送るフットスイッチです。一度押すたびにプリセット表の番号が一つ減る方向に切り替わります。このフットスイッチを2秒長押しするとチューナーモードに入ります。チューナーモードから抜けるには、再度2秒長押しするか⑬の右フットスイッチを一回押します。

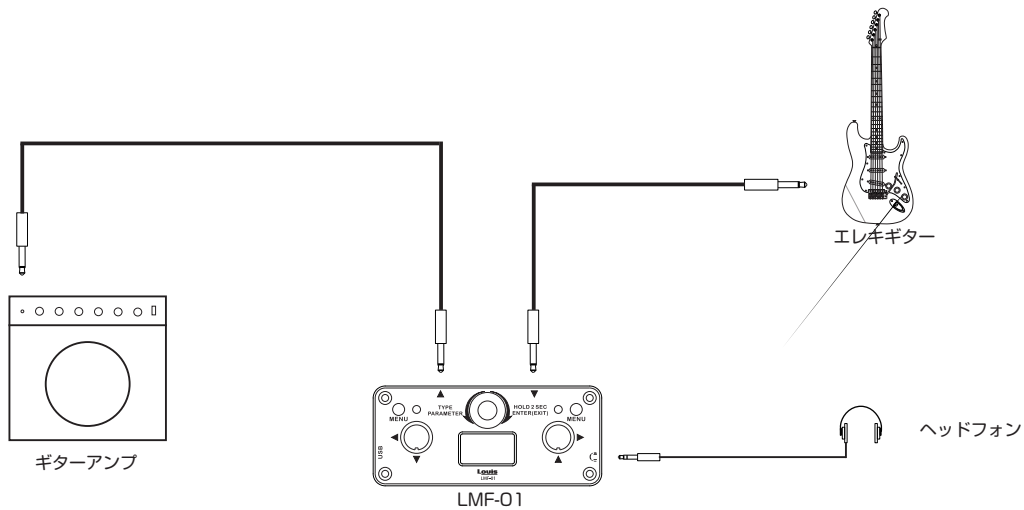
⑫ ディスプレイ

プリセット名の表示および LMF-01 の各パラメーターを表示するディスプレイです。ドラムマシーンおよびチューナー機能もこのディスプレイで表示されます。また、右上にはバッテリー残量表示が付いており、バッテリーの残量を確認することができます。

⑬ 右フットスイッチ

プリセットを順に送るフットスイッチです。一度押すたびにプリセット表の番号が一つ増える方向に切り替わります。このフットスイッチを2秒長押しするとドラムマシーンモードに入り、ドラムサウンドがスタートします。再度2秒長押しするとドラムサウンドが停止します。

接続について



LMF-01 の INPUT ジャックにエレキギターを接続し、OUTPUT ジャックにギターアンプなどを接続してご使用ください。ヘッドフォン端子にヘッドフォンを接続すれば、ギターアンプが無くても LMF-01 の音を聞くことができますので、深夜に自宅で練習を行う場合などに便利です。

充電方法



付属の USB ケーブルを使用して、④の USB-C 端子と市販の充電器（別売）を接続して下さい。約 2 時間ほどで充電が完了します。正常に充電が行われているときは③のバッテリー LED が赤く点灯します。なお、電流量が多く出力される高容量タイプの充電器、特に USB-C 出力の充電器を使用すると、LMF-01 の安全回路が働き、充電ができない場合があります。USB 接続を行っても③のバッテリー LED が点灯しない場合は、安全回路が働いている可能性がありますので、充電器を変更するか USB-C から USB-A に変換するアダプターを介してから充電をお試し下さい。

②のディスプレイ右上には、バッテリー残量を表示するアイコンがついています。アイコンが塗りつぶされた状態は、バッテリーの充電がフルの状態であることを示しています。このアイコンが白抜きの状態になりましたら、バッテリーの残量がほとんど無い状態ですので、速やかに USB ケーブルを接続して充電を行って下さい。



満充電状態



50%充電



残量がほとんど無い状態

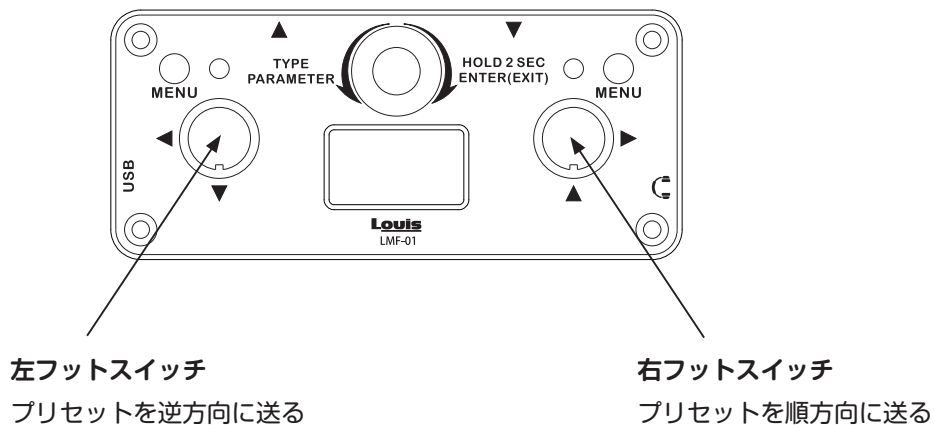
プリセットの選択

LMF-01 には全部で 16 個のプリセットエリアがあり、あらかじめ様々なエフェクトがプログラムされたプリセットが用意されています。プリセットの内容は下記の通りになります。

| プリセット No. | 表示名 | エフェクト内容 |
|-----------|-----------|-----------------------------------|
| 1 | CLEAN | ベーシックなクリーンサウンド |
| 2 | DRIVE | 軽い歪みのオーバードライブサウンド |
| 3 | DIST | ショートディリのかかったディストーションサウンド |
| 4 | METAL | 歪みの強いメタル系サウンド |
| 5 | CHORUS | クリーン系コーラスサウンド |
| 6 | HARM | 5 度上のオクターブ下が加わったハーモナイザーサウンド |
| 7 | PHASE | オーソドックスなフェイザーサウンド |
| 8 | FLANGER | ジェット機の上行下降感があるフランジャーサウンド |
| 9 | PHASE02 | レゾナンスの効いたフェイザーサウンド |
| 10 | WAH | 周期的なワウワウサウンド |
| 11 | VIBRT | ピッチが上下に揺らぐビブラートサウンド |
| 12 | ASC | アコースティックギターシミュレーター |
| 13 | MET + FLA | メタル系ディストーションとフランジャーサウンドの組み合わせ |
| 14 | DIS + PHA | ディストーションサウンドとフェイザーの組み合わせ |
| 15 | DELAY | クリーンギターサウンドに 900ms のディレイを組み合わせ |
| 16 | ASC + CHO | アコースティックギターシミュレーターにコーラスサウンドの組み合わせ |

プリセットの選択は①の左フットスイッチと、⑬の右フットスイッチを押して行います。右フットスイッチを 1 回押すたびにプリセット No. が一つ増える方向に選択され、左フットスイッチを 1 回押すたびにプリセット No. が一つ減る方向に選択されます。プリセット No.16 の時に右フットスイッチを押すとプリセット No.1 に戻り、プリセット No.1 の時に左フットスイッチを押すとプリセット No.16 に移動します。

プリセットが切り替わると、⑫のディスプレイにプリセットの表示名が表示され、現在のどのプリセットが選択されているのかを確認することができます。



選択されているプリセットの表示名が⑫のディスプレイに表示される

編集モードについて

LMF-01 のプリセットは、すべて編集ができる様になっています。プリセットの編集を行うには、下記の要領で編集モードに入り、各パラメーターを編集してください。

1. 編集モードの 1 ページ目に入る

⑫のダイヤルボタンを 2 秒長押しすると、編集モードの 1 ページ目に入り、ディスプレイが下図の様に変わります。下図は、プリセット 1 番の「CLEAN」のプリセットから編集モード 1 ページ目に入ったところ です。AMP の clean の部分だけ表示が反転しており、現在 AMP のタイプが編集対象になっていることを表示しています。



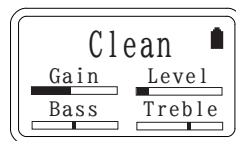
2. 選択されているパラメーターをダイヤルボタンで変更する

上記の状態⑫のダイヤルボタンを回すと、アンプのタイプが変更できます。搭載されているアンプタイプは以下の通りです。

| アンプタイプ | サウンド |
|--------|------------------------|
| off | アンプセクションオフ |
| clean | クリーン系アンプサウンド |
| acous | アコースティックギターのシミュレートサウンド |
| OD | オーバードライブサウンド |
| distr | ディストーションサウンド |
| metal | メタル系ディストーションサウンド |

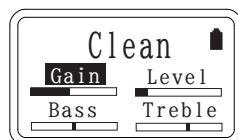
3. パラメーター編集ページに入る

使用したいアンプタイプを選択したら、さらに⑫のダイヤルボタンを 2 秒長押しします。すると下記の様なパラメーター編集ページに入ります。



4. パラメーターを選択して、各パラメーターを変更する

再度⑫のダイヤルボタンを押すと、下図の様に変更できるパラメーターが反転しますので、⑫のダイヤルボタンを左右に回してパラメーターを変更します。パラメーターを移動する場合は⑫のダイヤルボタンを押して移動します。移動は左上から右、下段左、下段右の順で一方方向にしか移動できません。一巡したら再度押すと左上が再び選択されます。



反転しているパラメーターを、
⑫のダイヤルボタンを回すことで変更できる



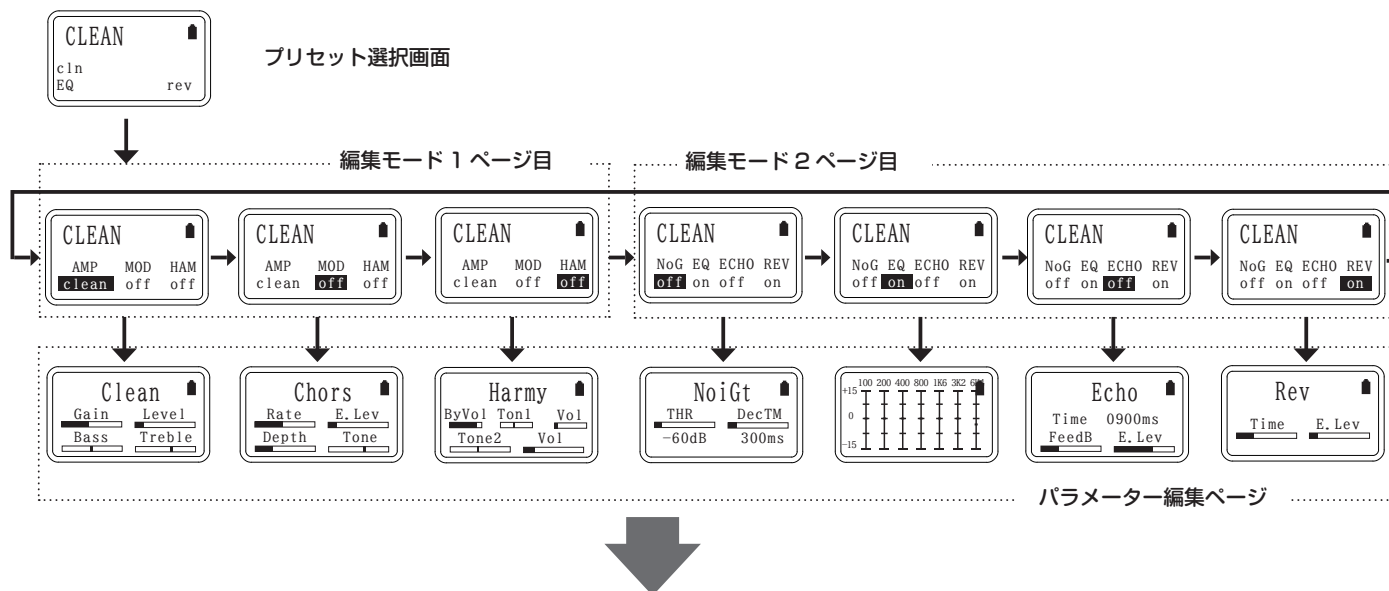
⑫のダイヤルボタンを押すと、
パラメーターを移動できる

5. 編集を決定して元に戻る

編集が終了したら⑫のダイヤルボタンを 2 秒長押しすると、編集が決定されてプリセット選択画面に戻ります。

1～5までの一連の操作は、一つのエフェクトセクション（アンプ、モジュレーション、ハーモナイザー、ノイズゲート、EQ、エコー、リバーブ）ごとにエフェクトタイプやセクションのオンオフを行う階層と、各エフェクトのパラメーターを変更する階層の2層構造になっており、2層目の階層に一度入ると、編集を決定してプリセット選択画面に一度戻る必要があります。

編集モードの階層関係は下記の様になっています。



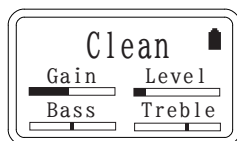
パラメーター編集ページからはプリセット選択画面にしか戻れません

■ 各パラメーターの詳細

エフェクトセクションの各パラメーターはエフェクトごとに表示および機能が異なります。それぞれのパラメーターについては以下の通りとなります。

アンプセクションのパラメーター

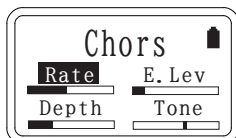
アンプセクションのパラメーター編集ページで設定できるパラメーターは下記の通りです。すべてのアンプタイプで同じものになっています。



| パラメーター名 | 効果 |
|---------|-------------------------------------|
| Gain | アンプのゲイン設定です。右に回していくと歪みが強くなります。 |
| Level | アウトプットの音量です。右に回すと大きくなります。 |
| Bass | 低域のコントロールです。左に回すと低域が減衰し、右に回すと増幅します。 |
| Treble | 高域のコントロールです。左に回すと高域が減衰し、右に回すと増幅します。 |

モジュレーションセクションのパラメーター 1 (コーラス)

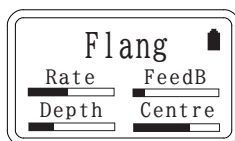
モジュレーションセクションのパラメーターは選択したエフェクトごとにより異なります。編集モード 1 ページ目の MOD 表示下の表示が「cho」になっているときは、パラメーター編集ページに入ると下記のパラメーターが表示されます。なお、コーラスとは、周期的にピッチを上下させた音を原音に混ぜて、二重に演奏している様に聞かせるエフェクトです。



| パラメーター名 | 効果 |
|---------|--|
| Rate | ピッチ上下の速さを設定します。右に回すほどピッチ上下の周期が速くなります。 |
| E.Lev | エフェクト音（ピッチが上下した音）の音量です。右に回すエフェクト音が大きくなります。 |
| Depth | ピッチの上下幅を設定します。右に回すと幅が大きくなります。 |
| Tone | エフェクトのトーンコントロールです。右に回すと明るい音になります。 |

モジュレーションセクションのパラメーター 2 (フランジャー)

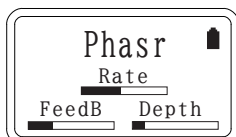
編集モード 1 ページ目の MOD 表示下の表示が「fla」になっているときは、パラメーター編集ページに入ると下記のパラメーターが表示されます。なおフランジャーとは、周期的にピッチを上下させた音を原音に混ぜ、さらにエフェクト音を入力に戻すフィードバック機能を使用してピッチの干渉を生み出し、ジェット機の上行下降音のような効果を得るエフェクトです。



| パラメーター名 | 効果 |
|---------|--|
| Rate | ピッチ上下の速さを設定します。右に回すほどピッチ上下の周期が速くなります。 |
| E.Lev | エフェクト音（ピッチが上下した音）の音量です。右に回すエフェクト音が大きくなります。 |
| FeedB | フィードバックの量を設定します。右に回していくとピッチの上下音が強くなっていきます。 |
| Centr | 上下するピッチの中心周波数を設定します。右に回していくと全体に高くなり、左に回すと低くなります。 |

モジュレーションセクションのパラメーター 3 (フェイザー)

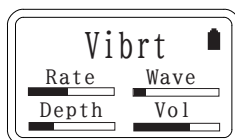
編集モード 1 ページ目の MOD 表示下の表示が「pha」になっているときは、パラメーター編集ページに入ると下記のパラメーターが表示されます。なおフェイザーとは、周期的に位相をずらした音を原音に混ぜ、位相干渉を生み出し、こちらもジェットサウンドと呼ばれる上行下降音のような効果を得るエフェクトです。



| パラメーター名 | 効果 |
|---------|---|
| Rate | 位相干渉の周期を設定します。右に回すほど周期が速くなります。 |
| FeedB | フィードバックの量を設定します。右に回していくとジェットサウンドが強調されます。 |
| Depth | 位相干渉の深さを設定します。右に回していくと、上行下降の幅が大きくなっていきます。 |

モジュレーションセクションのパラメーター 4 (ビブラート)

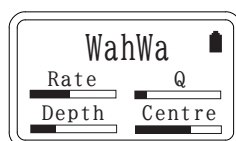
編集モード 1 ページ目の MOD 表示下の表示が「vib」になっているときは、パラメーター編集ページに入ると下記のパラメーターが表示されます。なお、LMF-01 のビブラートは、周期的に音量を上下するトレモロ効果が得られます。



| パラメーター名 | 効果 |
|---------|---|
| Rate | 音量の上下の周期を設定します。右に回すほど周期が速くなります。 |
| WAVE | 音量を上下させる波形の形を設定します。左にすると正弦波に、右にすると矩形波になります。 |
| Depth | 音量の上下幅を設定します。右に回すと幅が大きくなります。 |
| Vol | エフェクトの音量を設定します。右に回すと音量が大きくなります。 |

モジュレーションセクションのパラメーター 5 (ワウワウ)

編集モード 1 ページ目の MOD 表示下の表示が「wah」になっているときは、パラメーター編集ページに入ると下記のパラメーターが表示されます。なおワウワウとは、フィルターの中心周波数を周期的に上下させて、丁度人間の口が開いたり閉じたりした時のように、音が明るくなったり暗くなったりを繰り返して「ワ」と「ウ」を繰り返しているようなサウンドを得るエフェクトです。



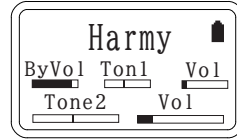
| パラメーター名 | 効果 |
|---------|--|
| Rate | フィルターの中心周波数が変化する周期を設定します。右に回すほど周期が速くなります。 |
| Q | 中心周波数近辺を強調する際の周波数幅を設定します。右に回すほど幅は狭くなり、効果が目立つようになります。 |
| Depth | 中心周波数をどのくらい強調するかを設定します。右に回すほど強調されるので、効果が目立つようになります。 |
| Centre | 移動する中心周波数の中央値を設定します。右に回すと高い周波数に、左に回すと低い周波数になります。 |

ハーモナイザー機能

LMF-01 には同時に 2 種類の音程を出せるハーモナイザー機能が搭載されています。ハーモナイザー機能を使用するには、プリセット選択画面から⑧のダイヤルボタンを 2 秒長押しして編集モード 1 ページ目に入った後、再度ダイヤルボタンを 2 回押しして「HAM」の表示下部にある「off」または「on」の文字を反転させ、ダイヤルボタンを右にひねって表示を「on」の状態にしてから、さらにダイヤルボタンを 2 秒長押ししてパラメーターを表示させます。さらに⑧のダイヤルボタンを押して変更したいパラメーターを反転させ、ダイヤルボタンを回して値を変更します。パラメーターの移動はダイヤルボタンを押して行います。



ここを「on」に変更



パラメーターページ

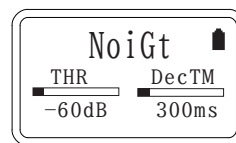
| パラメーター名 | 効果 |
|---------|--|
| By.Vol | 原音の音量を設定します。左に回すと音量が下がり、右に回すと音量が上がります。 |
| Ton1 | ハーモニートーン 1 の音程を設定します。中央で原音と同じ、左に回すと半音ずつ 1 オクターブ下まで下がり、右に回すと半音ずつ 1 オクターブ上まで上がります。 |
| Vol | ハーモニートーン 1 の音量を設定します。右に回すと音量上がり、最大で原音と同じ音量になります。左に回すと音量が下がり最小値は 0 で出なくなります。 |
| Tone2 | ハーモニートーン 2 の音程を設定します。中央で原音と同じ、左に回すと半音ずつ 1 オクターブ下まで下がり、右に回すと半音ずつ 1 オクターブ上まで上がります。 |
| Vol2 | ハーモニートーン 2 の音量を設定します。右に回すと音量上がり、最大で原音と同じ音量になります。左に回すと音量が下がり最小値は 0 で出なくなります。 |

ノイズゲート機能

LMF-01 には演奏していないときの不要なノイズをミュートするノイズゲート機能が搭載されています。ノイズゲート機能を使用するには、プリセット選択画面から⑧のダイヤルボタンを 2 秒長押しして編集モード 1 ページ目に入った後、再度ダイヤルボタンを 3 回押しして編集モード 2 ページ目に入り、「NoG」の表示下部にある「off」または「on」の文字を反転させ、ダイヤルボタンを右にひねって表示を「on」の状態にしてから、さらにダイヤルボタンを 2 秒長押ししてパラメーターを表示させます。さらに⑧のダイヤルボタンを押して変更したいパラメーターを反転させ、ダイヤルボタンを回して値を変更します。パラメーターの移動はダイヤルボタンを押して行います。



ここを「on」に変更



パラメーターページ

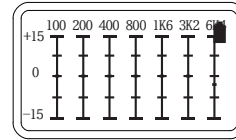
| パラメーター名 | 効果 |
|---------|---|
| THR | ノイズゲートが開く（ミュートが解除される）音量値を設定します。-70dB が最低値で、最低値の場合は小さな音量でもゲートが開くため、ノイズのミュート効果がほとんど無い状態になります。右に回していくと、ある程度の音が出ないとゲートが開かなくなるので、演奏していないときにはミュート状態になります。あまり上げすぎると演奏しても音が出なくなってしまうので注意してください。 |
| DecTM | ゲートが閉じる音量に達してから実際に音が消えるまでの時間を設定します。短いとすぐに閉じますが、サステーンで伸びている音が突然消えたような不自然な消え方になる場合、この値を長めに設定して不自然さを軽減することができます。右に回すと時間を長くすることができます。 |

EQ (イコライザー) 機能

LMF-01 には7バンドのグラフィックイコライザー機能が搭載されています。イコライザー機能を使用するには、プリセット選択画面から⑧のダイヤルボタンを2秒長押しして編集モード1ページ目に入った後、再度ダイヤルボタンを4回押しして編集モード2ページ目に入り、「EQ」の表示下部にある「off」または「on」の文字を反転させ、ダイヤルボタンを右にひねって表示を「on」の状態にしてから、さらにダイヤルボタンを2秒長押ししてパラメーターを表示させます。

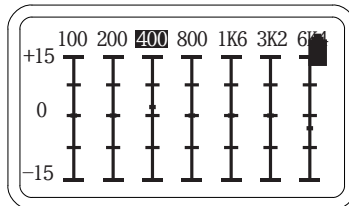


ここを「on」に変更



パラメーターページ

さらに⑧のダイヤルボタンを押すと上部の周波数欄が反転しますので、反転させた状態で⑧のダイヤルボタンを回すと反転している周波数のゲイン（増幅するか減衰するか）を変更できます。右に回すと増幅方向に、左に回すと減衰方向になり、それに合わせて画面の少しだけ太い横線が移動します。周波数を移動するには⑧のダイヤルボタンを押します。LMF-01のイコライザー機能はプラス15dB～マイナス15dBまで設定できます。

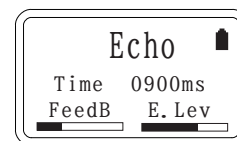


エコー (ディレイ) 機能

LMF-01 にはエコー (ディレイ) 機能が搭載されています。エコー機能を使用するには、プリセット選択画面から⑧のダイヤルボタンを2秒長押しして編集モード1ページ目に入った後、再度ダイヤルボタンを5回押しして編集モード2ページ目に入り、「ECHO」の表示下部にある「off」または「on」の文字を反転させ、ダイヤルボタンを右にひねって表示を「on」の状態にしてから、さらにダイヤルボタンを2秒長押ししてパラメーターを表示させます。さらに⑧のダイヤルボタンを押して変更したいパラメーターを反転させ、ダイヤルボタンを回して値を変更します。パラメーターの移動はダイヤルボタンを押して行います。



ここを「on」に変更

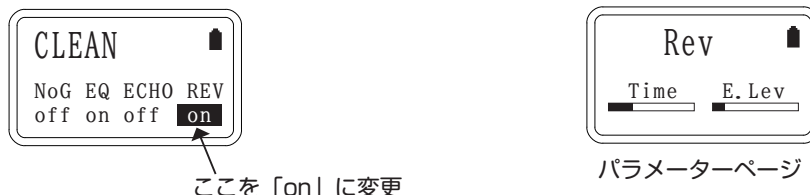


パラメーターページ

| パラメーター名 | 効果 |
|---------|--|
| Time | エコー (ディレイ) の間隔、すなわちディレイタイムを設定します。100ms～1900msまで設定可能で、ダイヤルボタンを左に回すと値が減少し、右に回すと値が増えます。 |
| FeedB | エコー (ディレイ) の繰返し回数を設定します。右に回すほど回数が増え、一番左ではエコー自体が無くなります。 |
| E.Lev | エコー (ディレイ) の音量を設定します。右に回すほど大きくなり、一番左ではエコーの音が出なくなります。 |

リバーブ機能

LMF-01 にはリバーブ機能が搭載されています。リバーブ機能を使用するには、プリセット選択画面から⑧のダイヤルボタンを 2 秒長押しして編集モード 1 ページ目に入った後、再度ダイヤルボタンを 6 回押しして編集モード 2 ページ目に入り、「REV」の表示下部にある「off」または「on」の文字を反転させ、ダイヤルボタンを右にひねって表示を「on」の状態にしてから、さらにダイヤルボタンを 2 秒長押ししてパラメーターを表示させます。さらに⑧のダイヤルボタンを押して変更したいパラメーターを反転させ、ダイヤルボタンを回して値を変更します。パラメーターの移動はダイヤルボタンを押して行います。



| パラメーター名 | 効果 |
|---------|---|
| Time | リバーブタイムを設定します。右に回すほど長くなり、左に回すほど短くなります。 |
| E. Lev | リバーブ音の音量を設定します。右に回すほど大きくなり、一番左ではリバーブ音が無くなります。 |

プリセットの保存

各パラメーターを設定後に⑧のダイヤルボタンを 2 秒長押ししてプリセット選択画面に戻ると、変更したパラメーターの状態が音が出ますが、このまま電源を切ってしまうと、再び電源を入れたときには変更前の状態に戻ってしまいます。変更を保存したい場合は、下記の手順でプリセットの保存を行います。

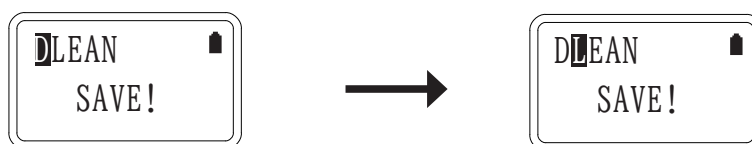
1. 左 MENU ボタンを 2 秒長押しして SAVE ! の表示を出す

⑥の左 MENU ボタンを 2 秒長押しすると、下図の様に「SAVE !」という表示が現れ、プリセット名の一文字目が反転した状態になります。



2. プリセット名を変更する

上記の状態⑩のダイヤルボタンを回すと、反転している文字が変更できます。変更できる文字は数字、記号、大文字アルファベット、小文字アルファベットで、一番左に回しきるとスペース（空白）を入力できます。変更が終了したら⑩のダイヤルボタンを押すと、反転している文字が右に一つ移動します。この操作を繰り返してすべての文字を変更します。プリセット名を変更しない場合は、そのまま 3. に移ります。



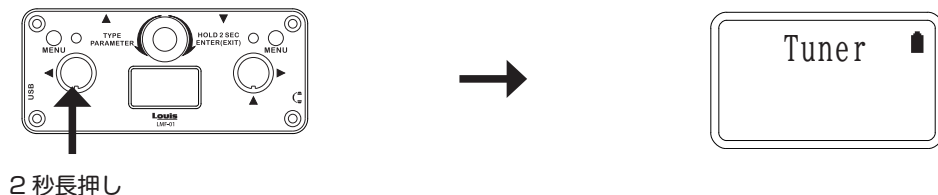
3. 保存を決定する

⑥の左 MENU ボタンを再度 2 秒間長押しすると保存が決定されます。

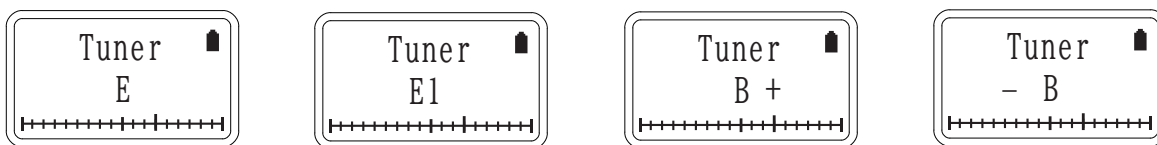


チューナー機能

LMF-01にはギター用のチューナー機能が搭載されています。チューナー機能を起動するには⑩の左フットスイッチを2秒長押しして下図の画面を表示させます。



そのままギターの任意の弦を開放弦で1本だけ弾くと、画面に弦の音程とメーターバーが表示されます。ディスプレイ中央部分にはE、A、D、G、B、E1のいずれかの表記に-および+をつけて♭または#を表現しており、Eは6弦のE、E1は1弦のEの音を表現しています。

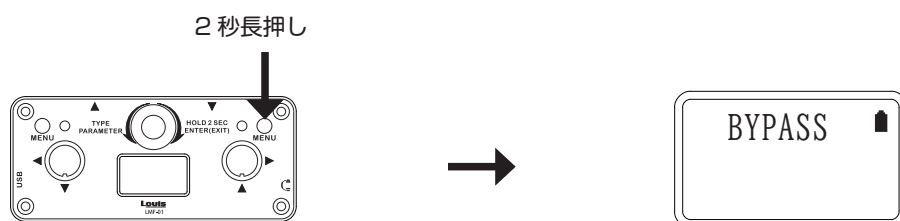


下部のメーターバーに少しだけ長い目盛りが左右に動きますので、中央の音名表示が弾いている弦の音名と一致（プラスもマイナスも無い表示）した上で、目盛りがメーターバー中央に重なったらチューニングが合ったことになります。中央位置より右にあるときはチューニングが高いので弦を緩める方向に、中央より左の場合はチューニングが低いので、弦を巻き上げる方向にチューニングを調整し、中央の位置に重なるように調整してください。



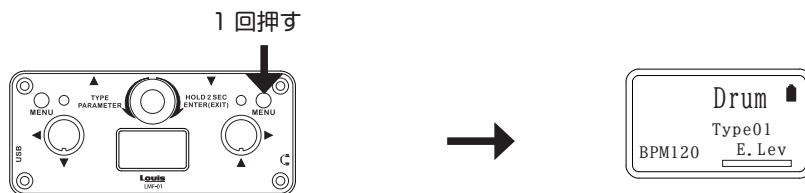
バイパス機能

LMF-01にはすべてのエフェクトをバイパスする機能が搭載されています。エフェクトやアンプタイプの設定によっては、音量が大きくなったり、小さくなったり（音が出なくなったり）する場合がありますので、バイパス機能を使用して基本となるギターアンプやミキサーの音量を設定する際に便利です。バイパスを行うには⑩の右 MENU ボタンを2秒長押しします。⑨の右 LED が赤く点灯し、ディスプレイに「BYPASS」と表示されてバイパスモードになります。バイパスモードから復帰させたい場合は、再度⑩の右 MENU ボタンを2秒長押しします。



ドラムマシン機能

LMF-01 にはドラムマシン機能が搭載されており、リズムに合わせてギター練習などを行うことができます。ドラムマシン機能を使用するには、⑩の右 MENU ボタンを 1 回押してディスプレイに「Drum」を表示させます。



⑧のダイヤルボタンを 3 回押して「E. Lev」のパラメーターを反転させた後、⑧のダイヤルボタンを右に回すとドラムサウンドが鳴り始めます。ドラムサウンドを止めたいときは⑧のダイヤルボタンを左に回して「E. Lev」を 0 にして下さい。



テンポを変更したい場合は、⑧のダイヤルボタンを数回押して BPM と数字が書かれた部分を反転させ、⑧のダイヤルボタンを左右に回して数値を変更してください。左に回すと遅くなり、右に回すと速くなります。設定できるテンポ値は 40 ~ 240 になります。

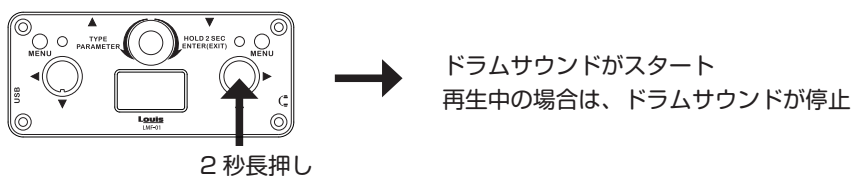


ドラムパターンを変更したい場合は、⑧のダイヤルボタンを数回押して Type と数字が書かれた部分を反転させ、⑧のダイヤルボタンを左右に回して数値を変更してください。搭載されているドラムパターンと数値の関係は表の通りです。



| | | | | | |
|--------|------------|--------|----------|--------|----------|
| Type01 | 8 ビート 1 | Type05 | 8 ビート 4 | Type09 | 16 ビート 2 |
| Type02 | 8 ビート 2 | Type06 | 8 ビート 5 | Type10 | 16 ビート 3 |
| Type03 | 8 ビート 3 | Type07 | 8 ビート 6 | Type11 | 16 ビート 4 |
| Type04 | 8 ビートシャッフル | Type08 | 16 ビート 1 | | |

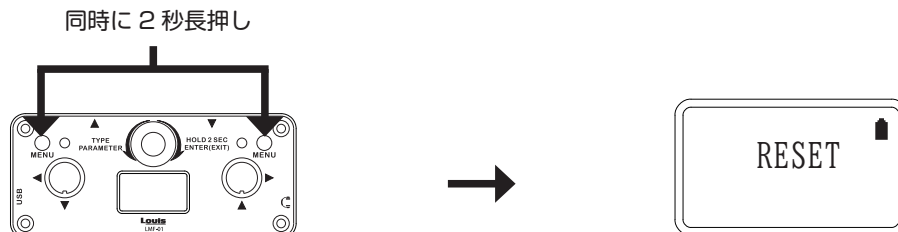
ドラムサウンドはフットスイッチでもオンオフ（スタート/ストップ）することができます。フットスイッチでスタートストップする場合は、⑬の右フットスイッチを 2 秒長押しします。なお、ドラムの音量はパラメーター画面で設定した E. Lev の値になります。E. Lev を 0 にしている状態で⑬の右フットスイッチを 2 秒長押しした場合は、最低の音量値でドラムサウンドが鳴ります。



⑩の右 MENU ボタンを再度 1 回押すと、プリセット選択画面に戻ります。

リセット方法

LMF-01 にはすべてのエフェクト設定およびドラムマシンのテンポなどの情報を初期値に戻す「リセット」機能が搭載されています。リセットを行うには⑥の左 MENU ボタンと⑩の右 MENU ボタンを同時に 2 秒長押しします。ディスプレイに 3 秒ほど「RESET」と表示されて、プリセット選択画面に戻ったらリセットは完了です。なお、リセットを行うと、変更したプリセット名などもすべて購入時の状態に戻りますのでご注意ください。



故障かな?と思ったら

故障かなと思ったら、修理に出す前に下記の事項をお試し下さい。

■音が出ない

- ・ギター、ギターアンプ、ヘッドフォンなどは正しく接続されていますか？
→セッティング例を参照して接続を確認して下さい。
- ・ギターアンプの音量が 0 になっていませんか？
→バイパスモードにしてギターアンプの音量を調節してください。
- ・ギター本体のボリュームは上がっていますか？
→ギター本体のボリュームを上げてください。
- ・エフェクトの音量設定は正しく設定されていますか？
→一度バイパスモードにして確認して下さい。また、ハーモナイザーのバイパスレベルが 0 になっていると原音が出ません。こちらも確認して下さい。
- ・アクティブピックアップのエレキギターをお使いの場合、ギターの電池残量は十分ですか？
→ギター本体の内蔵電池を新しい電池に交換してください。

■電源が切れてしまう

- ・バッテリー残量アイコンが白抜きになっていませんか？
→バッテリーの残量が少なくなっていますので、直ちに充電してください。
- ・入力端子に正しくギターが接続されていますか？
→入力端子にジャックを接続しないと LMF-01 の電源が入りません。必ず入力端子にジャックを接続した状態でお使いください。